



第二回
フレンドシップイン
太田大会 **優 勝**

平成20年5月5日太田商業高校にて

前橋育英高等学校 Softball 専用バス



これで遠征すると

とても

楽しい



H21. 5. 15 対 吾妻高校戦

平成21年度
第44回群馬県高等学校総合体育大会
ソフトボール競技大会
兼関東高等学校ソフトボール大会県予選会
の 始まりはじまり・・・

我が前橋育英高校はH20年の新人戦で惜しくも東日本大会への出場を果たせず、この冬は長かった。

今年は まず、4月の県民二部大会において、途中で大会が終了し、結果として育英を含む8校が優勝ということになり、幸先の良いスタートが切れた。

そして、五月の連休にフレンドシップ・イン・太田大会。そこで、去年の東日本代表決定戦で敗れた利根商業との対決、初回3点取るも、その裏に4点取られるなどのシーソーゲームと予想されたが、終わってみれば、6-4で、何とか勝利を収めた。しかし、去年は優勝出来たが、準決勝で埼玉の花咲徳栄に大差で敗れ、3位となった。

で、この **県高校総体（いわゆる関東予選）**、今までは、単に次のインターハイ予選でシードを取るための一つの大会という見方をしていたが、今回は違った。過去にも関東（県代表）を意識したことがあったが、今年ほど、それを感じるものは無かった。



H21. 5. 16 対 桐生女子戦

初戦（シードにより二回戦から）の対 吾妻高校戦。

一番打者が内野安打かな（カナ）と、思わせるショートのエラー？により出塁。すかさず、盗塁（サイン無し）。

二番打者に対し、1－1からの打球は左中間か？いや、センターのグローブの中。打球も速いが、スタートも速い？あっという間にツーアウトランナー無しに。結局0点。

そして、二回も0点。

そろそろエンジンかけてくれ！ってところで、八番DPがセンター前、続く9番はバスターからショートの内野安打（コースを狙って）。続いて1番もセンター前。で、0アウト満塁。

でも、満塁からがウチの課題、しかし、今日は違った。まず、セカンドゴロで、1点、次も内野にゴロを打ったが、相手のミスで2点目。

あれよあれよという間にその回に二回りしてナンと15点が入る。

結果は15－3で圧勝？そして、三回戦へ。



監督はいつもよく分からないことを言う？

5月16日の桐女戦は大変だったね。負ける気はしないが、全て打たされていたから、相手投手の術中にはまったなあ。でも勝てて良かった。

そして因縁の準決勝、相手は高商だよ。
去年の夏は勝ったから大丈夫かな。でも、育英は準決（純潔だから）に弱いし、ここぞって時に弱いからなあ。でも、もう成るようにしか成らないか。



おっとさっきまでキャッチャーやっていたのに
今度はピッチャーか？スゲー

H21. 5. 15 対 吾妻高校戦

育英高校、先頭バッター、レフト線へツーベースヒット！先制のチャンス！しかし、二番はピッチャーゴロで、二塁ランナーは三塁でタッチアウト。これは痛い。

その裏、高商の攻撃。一番はショートのエラーで出塁、二番は初球をレフト前へ。育英にとっては非常に嫌な雰囲気。しかし、三番を打ち取ってワンナウトランナー2・3塁。ここで四番か(><)。セカンドに叩くぞ！って思ったらピッチャーゴロ。ホームはアウトか？あれ、エラー痛い(二度目)そういえば、いつも、いつもエラーで負けてるよなあ。1点取られてツーアウトランナー三塁。四番を打ち取ったから大丈夫だろう。って思ったらセンターフライ？。センター取れるかな？おっと後は無いだろう。あーあ、いきなり2点か。でもまだ初回だから。

二回育英の攻撃0-2から5番が右中間へ3ベース、おおっと反撃か？と思ったら、次はサードライナー、更にピッチャーゴロで三塁ランナータッチアウト。ツーアウトランナー1塁。あれ、やっぱり厳しいなあ。と思ったら。八番がレフト線へ3B、1点返す、続いて9番DPは三遊間のH、同点じゃん。

二回裏の高商の攻めは0点。うーん、振り出しって感じかあ。

三回表、2番から、センターフライで1アウト。三番は四球で出塁、4番が送って、ツーアウトランナー二塁。ここで、先ほど、3Bの5番がまたも3Bで逆転！

三回裏はツーアウトランナー無しから、四球でランナー1塁。5番のセカンド後方へのフライ。取ってチェンジかと思ったら、なんとエラー痛い(3度目)やっぱり、エラーしてたらダメでしょう(><)。



勝利のあとの笑顔 (^^)

また振り出しか？

4回 育英の攻撃 7番はレフト前H。つづく8番は0-2からエンドランでセンター前H。9番DPの所で、代打の切り札。しかし、三振。1番に戻って1アウト1・2塁からセンター前で満塁。またも満塁の状況だが、セカンドのエラーで1点目。3番のライトフライでタッチアップ出来ず。痛い(4回目)ツーアウトランナー満塁から4番、0-1からレフト前で、2点目。ここで、二打席連続3Bの5番、じゃ試合を決めてもらうか。と思ったらセンターフライでチェンジ。そんなに上手くは行かないよなあ。



育英の選手は楽しそうだよなあ

4回裏 高商 三者凡退。

5回表 育英 先頭打者2-2からファーストファールフライ1アウト。7番はサードのライン際へ、フェアかファールか？フェアだあ。おおとレフト後逸、ランナーは走る走る、あっという間にホームイン。これで6-3いける？いや、どうかなあ。

5回裏 高商 1番からの好打順。先頭サードゴロ、1アウト。2番左中間への飛球、センター取ったか？と思ったら、落球。痛い(5回目)1アウトランナー二塁。ここから反撃されるか？しかし、3番ピッチャーゴロ、4番サードゴロで得点無し。



6回 育英 1番センター前H、2番も初球をセンター前へ、3番は進塁打で、1アウトランナー2・3塁。4番がピッチャーゴロの間に1点追加して、7-3に(^^)。この回はここまで。

そして、守備に付こうとする選手に監督は「まだ負けてるから、最後、守らず、攻めの気持ちで行け！」と檄をとばしたが、「先生、まだ、6回ですよ。」あらあ、監督しっかりしてちょーだいて感じ。

6回 高商 危ない打球があったが、3者凡退。

そして、最終回。6番の所に代打カウント3-1からライトへヒットかアウトか？結局ライトゴロ。7番はまたもやレフト前へ、今日は4の3でレフトに3本。8番の時にWPで1アウトランナー2塁。ここで、更に追加点か？と思ったら、サードゴロでランナーアウト、2アウト1塁。最後に代打を出すか、センターフライでチェンジ。

で、裏の攻撃は高商8番から。代打がデットボール。当たった選手よりこっちが痛い(6回目)。9番はショートゴロで6-4-3のゲッツーか？そんなに甘くはない。1アウト1塁。ここで怖いバッターの1番だが、初球をショートゴロでまたもや最後に6-4-3のゲッツーか？いやいや、ファーストへ投げられず。2アウト1塁、あと1アウト。しかし、IH予選では、そこから負けた(1点差のゲームだったが)。油断はできない。カウント2-2から最後は空振り三振。終わった。



育英高校の新しい1ページが刻まれた瞬間であった。